



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第610号
2023年10月2日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

令和4年度決算審査、日本共産党は「不認定」

8月28日から9月27日(会期31日間)で行われた令和5年八千代市議会第3回定例会では、20件の議案の他、請願、陳情が審議されましたが、日本共産党は議案6号の決算審査について、「不認定」としました。

市民の暮らしを守るための財政運営ではなかった

八千代市議会で、9月12日から15日までの4日間に渡り開催された決算審査特別委員会では、令和4年度の八千代市の財政運営について、つまり私たちの税金など収入がどう確保され、どのように使われたのか、無駄な事業はなかったのかなどを審査しました。

市は、コロナ禍と物価高騰対策として、水道料金の軽減支援のほか、学校や保育園における給食費の負担軽減支援などを実施していましたが、その一方で、高齢者や子どもたちが恩恵を受けづらい「キャッシュレス決済ポイント付与事業」に約6億2610万円、今、緊急的に必要とされていない「公共施設等整備基金」に約12億円を積み立てていることなどについて、日本共産党は、「コロナ禍と物価高騰から市民の暮らしを守るに使うべきだった」と指摘、「不認定」としました。

「ふるさと納税」八千代市の実態が明らかに

決算審査特別委員会の中では、日本共産党が請求した資料(下表)によって、八千代市の「ふるさと納税」の実態が明らかになりました。

令和4年度における八千代市の「ふるさと納税」は、寄附金収入をはるかに超える住民税控除額(市外に流れた額)によって5億円を超える税金の減額(差額)になっており、この額は5年間で2.2倍にも膨らみ、市の行財政に大きな影響を与えています。

実際には、地方交付税交付金の交付団体である八千代市にたいし、減額(差額)の75%分が国から補填されています。しかし、補填に使われた税金は、私たち国民の負担によって集められたものです。

日本共産党は、このような問題を抱えている「ふるさと納税制度」について、八千代市は国へ抜本的な見直しを求めるべきと議会で指摘しました。

八千代市ふるさと納税収支表(過去5年間)

ふるさと納税で市外に流れた額

	寄付件数	寄付金収入(A)	募集等費用(B)	住民税控除額(C)	差額(A)-(B)-(C)
令和4年度	5196件	155,760,500円	76,359,343円	623,204,000円	△543,802,843円
令和3年度	4992件	137,704,500円	67,169,411円	477,776,000円	△407,240,911円
令和2年度	5023件	104,613,500円	52,998,084円	371,891,000円	△320,275,584円
令和1年度	4079件	76,573,500円	37,664,698円	345,741,000円	△306,832,198円
平成30年度	1234件	21,070,000円	10,218,819円	258,592,000円	△247,740,819円